

第64回在宅ケアネット渋川 講演会レポート

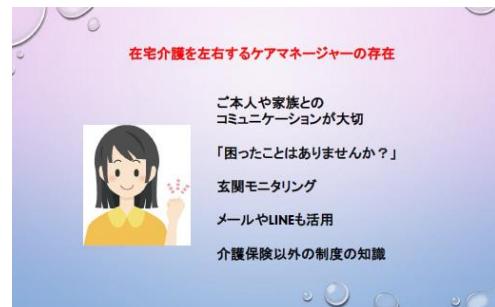
[日時] 9月20日(金) 19:00~20:15 [会場] プレヴェール渋川

[演題] 「若年性認知症の母と生きる」

[講師] フリーアナウンサー・社会福祉士 岩佐まり氏



参加内訳人数	
職種	計
医師、歯科医師、薬剤師	7
看護職(保健師・看護師)	33
歯科衛生士	1
PT/OT/ST	8
精神保健福祉士・社会福祉士・SW・相談員	14
介護支援専門員	30
介護職員	16
事務(行政含む)/その他	11
合計	120



【講演資料より抜粋】

3年前に在宅ケアネットでご講演いただきました岩佐先生、前回はWebでの登場でしたが、今回は大阪から来てくださいました。「みなさんにやっと会えました。本当に会いたかったです」とおっしゃってくださいました。

明るく・楽しく介護されている岩佐先生ですが、現在までどのようなことで悩んだか、何が辛かったか、またどのようなことに救われたのか。在宅介護されるご家族の視点でのお話を、気付きがたくさんありました。講演を聞いて、思わず笑ってしまったり、時には涙ぐんでしまったり。ご家族の心情を知ることができる、貴重な機会となりました。

[参加者の感想(一部抜粋)]

☆介護者の生の声をかけて、本当に良かったです。

☆実体験としてとても貴重な内容でした。在宅医療・介護について、何が求められているのかを知る良い機会でした。

[参加者の感想(一部抜粋)]

☆「認知症になっても母は母」というフレーズがとても身にしました。ただ怒るのではなく、相手を理解しようとする心が必要だと思いました。

☆気付きから延命治療まで、本人や家族がどう考えて、感じて生活してこられたか、気持ちの揺らぎまでとてもよく伝わりました。支援者として良かれと思う言葉も、おいつめることになりかねないと感じ、本人・家族に寄り添うことの大切さと難しさを感じました。

☆医療に関わるものとして、ご家族とお話させていただくこともあるので、言葉かけには十分配慮して、できるかぎり傾聴していきたいと思いました。

☆多くの方に認知症を正しく理解できる世の中になると暮らしやすくなると心から思いました。

☆2度目の講演でしたが、生の声はやはり説得力があった。前回からさらに3年間の話(続き)も聞けて良かった。